児童に見られるつまずき

　乗法や除法の素地となる「同じ数ずつ」の意味を理解することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　数図ブロックを使って役割演技をしたり、自分がかいた図を説明したりすることで、同じ数ずつ集めたり分けたりする意味についての理解を深める

指導事例集ｐ．４９

１　学年・単元名　　第１学年　おなじ　かずずつ（数と計算領域）

２　単元目標

・具体物をまとめて数えたり等分したりし，それを進んで整理し表そうとしている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【関心・意欲・態度】

・まとめて数えたり等分したりして，乗法や除法の素地的な見方で考えることができる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【数学的な考え方】

・乗法や除法の素地となるブロック操作ができ，それを絵や式にかいて確かめることができる。

【技能】

・ブロック操作を通して，乗法や除法の素地となる「同じ数ずつ」の意味を理解する。

【知識・理解】

参考：単元について

３　単元の内容

　・１人分がいくつかで，その何人分かの数を求める経験をする。

**・同じに分ける分け方として，同じ数ずつ分けたり，何人かに等分したりする経験をする。**

４　本時の目標

　　同じに分ける分け方として，同じ数ずつ分けたり、何人かに等分したりする経験をすることができる。

参考：板書

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| 導入  展開  まとめ | １　本時の問題を把握し，見通しを持つ。  キャラメルが８こあります。１人に２こずつあげるとなん人にあげられますか。  おなじに　わける　もんだいを　かんがえよう。  ２　本時の学習について知り，既習事項をもとに解決する。  ○自力解決をする  ・２，４，６，８で４人  ・２＋２＋２＋２＝８で４人  ○全体で検証をする  ・ブロックを操作  ・絵や図で説明  ・式で確かめる  ワークシート１使用  参考：授業の様子  ３　やってみる  ①いちごが１０こ　あります。  　１人に２こずつ　くばると、なん人にあげられますか。  ②りんごが１２こ　あります。  １人に４こずつ　くばると、なん人にあげられますか。  ○自力解決をする  ○全体で検証する。  ４　振り返る | ・前時の学習と同じように，ブロックや図を用いて考えていく学習であることを伝える。  ・場面を途中まで動作化して、同じ数ずつ分ける問題であることをおさえる。  ・より実感を持って場面をイメージさせるために，数図ブロックをキャラメルに見立てて動作化させる。  ・前時の学習を振り返り，絵や図をもとに考えるように伝える。  ・式で解決することにこだわらないように伝える。  ・言葉で説明しにくい児童にも，自分で考えた図を提示させ，他の児童に説明させることにより学級全体で理解していく意識を高める。  **・確かめのために場面を式化し，図や動作との関連について問うことで，「２こずつのキャラメルが，１人分，２人分，３人分，４人分ある」ことに気づかせる。**  ・もとの数が10個に変わるだけの問題から始めることで、主問題との差を減らして考え易くする。  ・続けて、4個ずつ配る場面を提示する。どちらの問題も一人で考えるときは、友達の代わりに絵を描いてブロックを渡していけばよいことを伝える。  **・動作しながら説明したり，図や具体物を指しながら説明したりさせる中で，求められているのが，配る人の数であることに気づかせる。**  ◇数図ブロックや絵，式に表して，何人かに等分することができる。　　　【数学的な考え方】  ・本時の振り返りを書かせ，分かったことや感想を発表させる。 |